

『時事直言』 No.1615 2023年8月2日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

「資本の意志」を知ればすべてが分かる！

昨日小冊子 Vol. 135 の入稿が終わった。

お札に「表と裏」があるように、何事も「本音と建て前」がある。

広島・長崎原爆投下の理由は、戦争を早く終わらせる為だと信じられている。

戦争を終わらせる為なら原爆投下は広島だけで十分であったのに何故長崎に投下したのか。

この疑問にアメリカは答えていない。

答えるべきことを答えない時は裏(真実)がある。

広島に投下された原爆はウラニウム型で、筒の両端に設置されたウラニウムの一方を起爆して他方に核分裂を連鎖させる方式。

細長い円筒なのでトルボーイと呼ばれる。

長崎の原爆は、中心に設置されたプルトニウムの周りを爆薬でボール状に固め同時に起爆させてプルトニウムを分裂させ、連鎖爆発を起こす方式。

アメリカはこの二つの方式の人体実験を行う必要があったのである。

トルーマンもスターリンも第二次大戦終結と同時に米ソ冷戦が始まることはわかっていた。

だからアメリカはソ連より早く人間社会で核の人体実験をする必要があった。

アメリカ以外のソ連(ロシア)と他の核保有国はモルモット(砂漠や地下)の実験はしているが、人体(都市)実験はしていない。

人体実験をした新薬は人間に効能があるが、モルモットだけしか実験していない新薬は売り物にならない(核抑止力がない)。

ソ連が崩壊する 1991 年前の 1945 年 8 月の広島・長崎原爆投下という人体実験成功の時点で米ソ連戦の勝敗は決まっていた。

世界は人間に投与出来る薬を持ったアメリカの大樹に依り、人体実験をしていない雑木のソ連から離れる。

では誰がトルーマンを動かしたのか。

「資本の意志」である。

まずは、「資本の意志」を知るところから始めなくてはならない。

「小冊子 Vol.135」を熟読すれば、今まで信じていた世界が崩れ、新しい世界が目前に開けてくる。

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏(真実)
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtube の視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。